

「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」を開催

当会は2020年12月12日(土)、13日(日)の2日間、建設業界を志す学生を対象とした「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」をオンライン配信により(一社)東京建設業協会と共同で開催した。イベントには両会より60社の会員企業が参加。全国の多くの学生に建設業への理解・就業意欲を深める機会を提供した。

今回で8回目となる本イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めての試みでオンライン配信での開催となった。参加企業60社が配信スタジオに会い、タイムスケジュールに合わせて視聴学生に向け各社の業務内容などを説明した。

各社の企業説明に先駆けて特別講演があり、『日経コンストラクション』で編集長を務める浅野祐一氏からは「専門媒体が教えます!建設業のホント~コロナでどう変わる?」をテーマに建設業界の基礎知識からトレンドまでわかりやすく解説した。また、新卒採用コンサルタントの小川都喜子氏からは、「面接対策講座」と題し、コロナ禍におけるオンライン面接の特徴や面接対策のポイントなどを解説した。



当日の配信スタジオの様子。4つのスタジオを使って画面を切り替えながら配信し、視聴する学生たちに待機時間が生まれないよう工夫した。

みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ

建設業界最大級のWEB合同説明会

2020.12.12(土)~13(日)

2 days 10:00~18:00

建築・土木系の学生必見
その他建築・文系の学生も歓迎

オンライン開催!
約60社のセミナーを自由に観る

約60社 建設業界 発見
大企業多数参加! 冬インターンシップ らくらく検索&自由視聴!

参加申込
申込フォームを確定して、当日の視聴URLをご案内します。

主催: (一社)建設業協会・(一社)東京建設業協会 協賛: 東京建設業協会 後援: 東京建設業協会

上/本イベントの告知パンフレット
右/当日のタイムスケジュール

特別講演	1 専門媒体が教えます!建設業界のホント~コロナでどう変わる? 日経BP・日経クロステック建設編集長兼日経コンストラクション編集長 浅野祐一氏	2 新卒採用コンサルタントによる、面接対策講座
[DAY.1] 12/12 Sat.		
10:00-10:30	特別講演 1	特別講演 2
10:30-10:55	野村建設工業	港シビル
10:55-11:20	興村組	大木建設
11:20-11:45	日本ビーエス	フジタ
11:45-12:10	アイサウ工業	成友興業
12:10-12:35	飛鳥建設	東急建設
12:35-13:00	IHI インフラ建設	東洋建設
13:00-13:25	BREAK TIME	
13:25-13:50	竹中工務店	
13:50-14:15	順谷組	ツツミワークス
14:15-14:40	興村組土木興業	西武建設
14:40-15:05	東亜建設工業	松井建設
15:05-15:30	三井住友建設	鴻池組
15:30-15:55	桂城建設	東急リニューアル
15:55-16:20	BREAK TIME	
16:20-16:45	イテケン	アサヒ
16:45-17:10	鹿島建設	西松建設
17:10-17:35	戸田建設	佐藤工業
17:35-18:00	北野建設	南海辰村建設
[DAY.2] 12/13 Sun.		
	特別講演 1 録画	特別講演 2 録画
	大日本土木	錢高組
	ショーボンド建設	不動テトラ
	木内建設	オリエンタル白石
	ファーストコーポレーション	ビーエス三菱
	田辺建設	信号器材
	大豊建設	鉄建建設
	BREAK TIME	
	淺沼組	古久根建設
	清水建設	
	丸彦渡辺建設	ナカノフドー建設
	安藤・間	長谷工コーポレーション
	みらい建設工業	あおみ建設
	白石建設	合田工務店
	BREAK TIME	
	大成建設	
	西松建設	前田建設工業
	大本組	共立建設
	若菜建設	五洋建設

配信タイムスケジュールにより、参加企業は配分時間25分間の持ち時間のなかで、各社の特色や業務内容を説明し、さらには視聴学生による質問などに答えながらイベントは進められた。学生の企業への理解度は、対面形式でもオンライン形式でも差はないと言われている。また、参加学生は全国各地から簡単に参加アクセスができるため、事前申込数約1,400名、総視聴者数延べ6,000名とこれまでにない盛況ぶりだった。こ

他に、多くの企業を視聴していただくため、特別企画としてキーワードを集めた学生には、Amazonギフトカードのプレゼントも実施した。

今回のイベントは2日間のLIVE配信となったが、これらの様子は1月20日から2月末までオンデマンド配信する予定で、学生のタイミングで全ての企業を視聴することもできる。多くの学生が建設業界への就業意欲を深める効果的な機会となることを期待したい。

わくわく・すいすい「空を翔ぶ」 2020イベント実施報告

新型コロナ感染問題で開催が危ぶまれましたが、2020年11月7日(土)に例年のように船に乗って橋や街の姿などを見学する「水辺探検」を取り止め、わくわく・すいすい「空を翔ぶ」陸上イベントを実施しました。関係者による周到で細心の準備状況をご理解下さいました事で、これまで通り東京建設業協会第一支部と東京土木施工管理技士会の後援を頂戴できましたことに感謝申し上げます。

参加は中央区立阪本小学校の1年生から6年生の28名の児童で、予想以上に募集人数を超えましたが、楽しみにしていた気持ちに応える配慮から、当初の人数を増やしての実施に踏み切り、無事に終わらせることが出来ました。

会場の阪本小学校は明治5年、近代日本の公立一番小学校として設立された歴史ある学校です。この2年

の歳月をかけて建て替え工事が行われ、昨年9月に新しい建物が完成しました。一体的に設計された閉閉型屋根付き屋上校庭は、天井が高く紙飛行機を飛ばす恰好の空間で、コロナ禍のために竣工記念の運動会も出来ず、沈みがちな子どもたちの気分転換になったと喜んで貰えました。

さらに追記させていただきますが、隣接していた仮設校舎の跡敷地では、新しく地域公園の工事が始まります。すべての学級教室から工事の様子を観察できるのですが、このような環境で育つ子どもの中には、未来の公園づくりの専門家を目指す人材を輩出する可能性が期待されるのではないのでしょうか。

報告者 実行委員長 阿部 彰
(わくわく・すいすいー2020実行委員会)



上/山梨の日本航空学園で教鞭を取っていた水野宏一先生が開発した組み立て式紙飛行機です。単3電池で充電する超小型モーターを搭載し、数分間飛び続けることができます。

右/高さ8~12mの空間を上手に円弧を描いて数分間飛び紙飛行機のコンテストが行われました。中には残念ながら思ったように飛ばないものや、高く飛びすぎて天井の鉄骨に挟まる飛行機もありましたが、楽しい思い出になったことでしょう。

